

ひょうごらくのうメモ

令和元年7月号

(令和元年7月16日発行)



ホームページ開設中



表紙写真：第4回通常総会（令和元年6月28日 西神文化センター）

今月の主な内容

1	● 生乳生産量統計
2	● 行事、活動レポート・主な行事予定
3	● 技術情報
4	● 淡路家畜市場情報
5	● 隣県家畜市場情報
6	● 北海道産牛価格情勢
7	● 北海道乳牛産地情報
8	● 輸入粗飼料の情勢



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

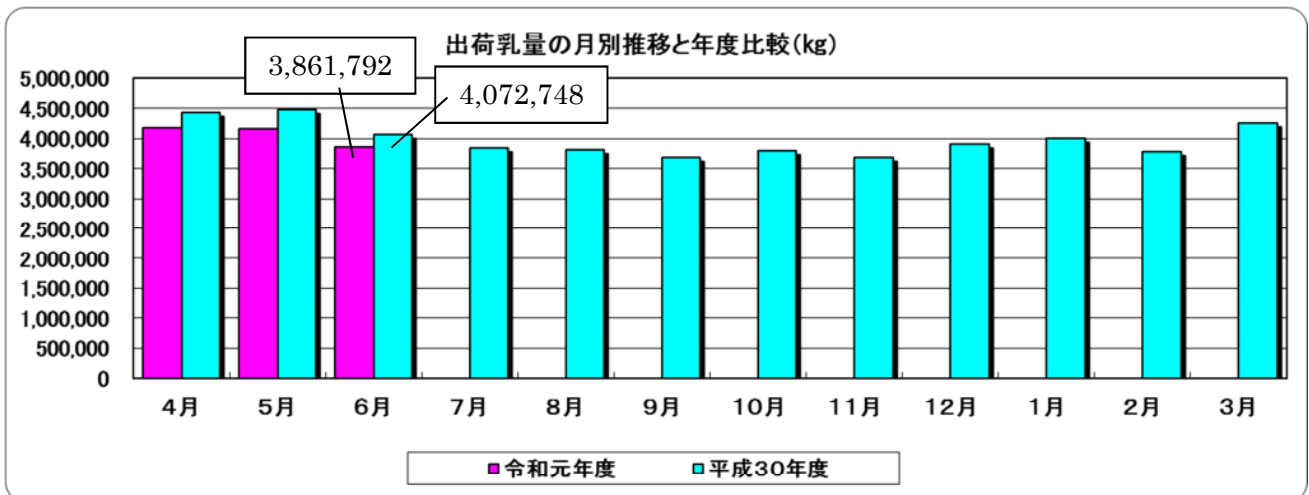
生乳生産量統計

1. 全国（令和元年5月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.8	99.9
令和元年 5月	644.2	99.5
令和元年 6月		
令和元年 7月		
令和元年 8月		
令和元年 9月		
令和元年10月		
令和元年11月		
令和元年12月		
令和2年 1月		
令和2年 2月		
令和2年 3月		
令和元年度累計	1267.0	99.3

2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和 元年6月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	612,980	92.5	1,906,702	92.2	26
播州地区	1,116,324	99.8	3,484,494	97.8	37
丹但地区	338,639	87.2	1,092,787	87.5	18
淡路地区	1,793,849	94.2	5,717,433	92.8	114
合 計	3,861,792	94.8	12,201,416	94.0	195



第4回通常総会開催報告

令和元年6月28日午後1時30分より西神文化センター大ホールに於いて第4回通常総会を開催いたしました。

総会の開催に当たり衆議院議員、藤井ひさゆき先生をはじめ近畿農政局、兵庫県、乳業関係者等多数の来

賓の出席を賜り、それぞれ代表者からご祝辞をいただき、都府



県における生産基盤維持・強化の重要性を唱え支援策の充実をお約束いただきました。

議事においては南 和頼議長（洲本市）の進行の下、本人、委任状代理人出席を含め40名、議決権行使書114名、計154名によりそれぞれ議案につき決議されすべての議案について原案とおりの可決決定されました。

各議案の質疑の中では、今後の中長期的な組合運営のシミュレーションの作成や組合員に対する利益還元等、貴重なご意見・ご質問を頂き今後、理事会において協議・検討して行くことといたしました。



議事進行に当たる南議長

議案及び決議結果については次のとおりです。

第1号議案

平成30年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

賛成 151 票（内議決権行使 114 票）

反対 0 票（内議決権行使 0 票）

原案とおりの可決決定

第2号議案

令和元年度事業計画の設定について

賛成 152 票（内議決権行使 114 票）

反対 0 票（内議決権行使 0 票）

原案とおりの可決決定

第3号議案

令和元年度経費の賦課及び手数料とその徴収方法について

賛成 150 票（内議決権行使 113 票）

反対 2 票（内議決権行使 1 票）

原案とおりの可決決定

第4号議案

令和元年度役員報酬の決定について

賛成 151 票（内議決権行使 113 票）

反対 1 票（内議決権行使 1 票）

原案とおりの可決決定

第5号議案

退任理事に対する退任給与金の支給並びに役員退任給与引当金の取崩について

賛成 152 票（内議決権行使 114 票）

反対 0 票（内議決権行使 0 票）

原案とおりの可決決定

第6号事案 附帯決議について

賛成 拍手多数

議決権行使賛成 114 票

原案とおりの可決決定

第16回

「ことうべ食育フェア」に出展

親子で遊ぼう！牛乳パックでおもちゃ作り！

6月22日、神戸ハーバーランドに於いて、神戸市主催の第16回ことうべ食育フェアが開催され、組合も出展しました。組合のブースには149名の方が立ち寄られ、開場と同時に、小さなお子様から年配の方まで多くの方に牛乳パック工作を楽しんで頂きました。6月は牛乳月間で、それに因んでの取組みであり、酪農・牛乳乳製品の理解醸成に主眼を置いた活動です。また、日本乳業協会 入口由実先生が牛乳の優位性や栄養価についての話を来場者の方にされ、話を聞かれた方からは、牛乳にまつわる普段から疑問に思われている事等を質問されている場面もありました。他にも、日本在住の海外の方で「もっと日本の牛乳に



ついて知って発信したい。」と言われる方も居られました。この様な機会を大切にし、消費者の方に対して兵庫の酪農、兵庫県産牛乳の魅力を継続的にPRして参ります。最後にはなりました。今回ご協力を頂いた兵庫県農政環境部畜産課養鶏班並びに、資料提供をして頂いた雪印メグミルク(株)など、関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

○主な行事予定

(7月)

17日 兵庫県認証食品に係る畜産物有識者会議

淡路自衛防疫推進協議会幹事会

中国地区B&Wシヨウ決算報告会

18日 近畿生乳販連 通常総会・理事会

神戸市家畜衛生防疫対策連絡会

22日 内部・管理職会議

理事会

23日 酪農共済推進(24日)

園田競馬場畜産フェア

25日 全酪連第70回通常総会

「畜産技術ひょうご」編集会議

近畿地区登録委員研修会

26日 兵庫県牛乳普及協会総会

兵庫県ホルスタイン改良協議会総会

29日 令和元年度兵庫県政策提案会

淡路乳質改善協議会実務担当者会議

神戸地域ホルスタイン改良同志会総会

神戸・西播地方共催料理講習会

31日 兵庫県民農林漁業祭出展説明会

(8月)

1日 内部職員会議

7日 淡路花博20周年記念事業第1回実行委員会

今年の夏の暑熱対策は体内環境からのアプローチ

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 漆澤 桃香

1. はじめに

全酪連大阪支所で酪農資材の担当をしております、漆澤と申します。

暑さに加え、梅雨入りによりじめじめとした日が続いており、今年も夏本番が迫ってきました。

下記の図は、温湿度指数（THI）といい、牛の暑熱ストレスの指標となるものですが、これを見ると、人間ならそれほど暑く感じない気温 22℃の場合でも、湿度が 45%あれば牛はストレスを感じ始めていることが分かります。“乳牛は暑さに弱い”という話はよく耳にされることと思いますが、本格的な暑さを迎える前から乳牛の暑熱ストレスは始まっています。

そこで、この度は、夏を乗り越えるための暑熱対策と、今年の夏に役立てていただきたい弊会の酪農資材製品を簡単にご紹介したいと思います。

Temperature	% Relative Humidity																						
	%F	%C	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
72	22.0	64	65	65	65	66	66	67	67	67	68	68	69	69	69	70	70	71	71	72	72	72	72
73	23.0	65	65	66	66	66	67	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	71	72	72	72	73	73
74	23.5	65	66	66	67	67	67	68	68	69	69	70	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	74
75	24.0	66	66	67	67	68	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	75
76	24.5	66	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	76
77	25.0	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77
78	25.5	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78
79	26.0	67	68	69	69	70	70	71	71	72	73	73	74	74	75	76	76	77	77	78	78	79	79
80	26.5	68	69	69	70	70	71	72	72	73	73	74	75	75	76	76	77	78	78	79	79	80	80
81	27.0	68	69	70	70	71	72	72	73	73	74	75	75	76	77	77	78	78	79	80	80	81	81
82	28.0	69	69	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	77	78	79	79	80	81	81	82	82
83	28.5	69	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	80	81	82	82	83	83
84	29.0	70	70	71	72	73	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	80	81	82	83	83	84	84
85	29.5	70	71	72	72	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84	85	85
86	30.0	71	71	72	73	74	74	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84	85	86	86
87	30.5	71	72	73	73	74	75	76	77	77	78	79	80	81	81	82	83	84	85	85	86	87	87
88	31.0	72	72	73	74	75	76	76	77	78	79	80	81	81	82	83	84	85	86	86	87	88	88
89	31.5	72	73	74	75	75	76	77	78	79	80	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89	89
90	32.0	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89	90	90	90
91	33.0	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89	90	91	91	91
92	33.5	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	85	86	87	88	89	90	91	92	92
93	34.0	74	75	76	77	78	79	80	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	93
94	34.5	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	94
95	35.0	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	95
96	35.5	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96
97	36.0	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97
98	36.5	76	77	78	80	80	82	83	83	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98
99	37.0	76	78	79	80	81	82	83	84	85	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100	38.0	77	78	79	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
101	38.5	77	79	80	81	82	83	84	86	87	88	89	90	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101
102	39.0	78	79	80	82	83	84	85	86	87	89	90	91	92	94	95	96	97	98	100	101	102	102
103	39.5	78	79	81	82	83	84	86	87	88	89	91	92	93	94	96	97	98	99	101	102	103	103
104	40.0	79	80	81	83	84	85	86	88	89	90	91	93	94	95	96	98	99	100	101	103	104	104

軽度のストレス 呼吸数60回/分、乳生産量と繁殖性の低下が始まる。直腸温38.5℃まで上昇

中程度のストレス 呼吸数75回/分、直腸温39℃まで上昇

強いストレス 呼吸数85回/分、直腸温40℃まで上昇

非常に強いストレス 呼吸数120-140回/分、直腸温41℃まで上昇

Zimbleman et al. (2009)

2. 暑熱対策の基本

牛にとって最も大切なのは、新鮮な空気と水です。既によくご承知の部分かとは思いますが、確認も含めて「牛舎環境の改善」に目を向けてみてください。換気扇による空気の入替えや、扇風機・ミスト等を利用したクーリング、そして清潔で十分な量をいつでも飲める水飲み場は確保できているでしょうか。送風は風速 2~3m/秒、飲水は 1 日 100ℓ 以上飲める環境が望ましいといわれています。

3. 飼養管理・体内環境からのアプローチ

環境整備は重要ですが、“完璧”な状態にするのはなかなか難しいことでしょう。また、昨年のような猛暑の場合、それだけでは不十分かもしれません。そこでご活用頂きたいのが「添加物」です。今回は2つの製品について紹介させていただきます。

① 夏の定番「重曹」

今では夏の必須アイテムの1つとなっていますが、その役割を簡単におさらいします。

牛は適温期（0～20℃）には1日150～200ℓの唾液を分泌しますが、そのうち0.7%は弱アルカリ性の重曹成分です。重曹重量に換算すると約1.5kg分にもなります。牛は、この唾液により、ルーメン内が酸性に傾きすぎないように調整されています。ところが、夏には食欲の低下や反芻回数の減少により、唾液の分泌量が必然的に減ってしまいます。また、浅くて速い呼吸（パンティング）が発生し、唾液が床や飼槽に垂れ流れ、さらにロスしてしまいます。

そのため夏は、様々な疾病にも繋がる“アシドーシス”のリスクが特に高くなり、他の季節以上に重曹の必要性も高まるのです。全酪連ではマッシュタイプの「ゼンラク重曹」とペレットタイプの「ゼンラク重曹ペレット」を提供しております。

ゼンラク重曹ペレット（20kg紙袋）

- ・重曹60%含有
- ・嗜好性に優れたペレットタイプ
- ・分離給与に！

給与量
200～300g/日



ゼンラク重曹（20kg紙袋）

- ・重曹99%以上含有
- ・嗜好性に優れたペレットタイプ
- ・TMRや自家配に！

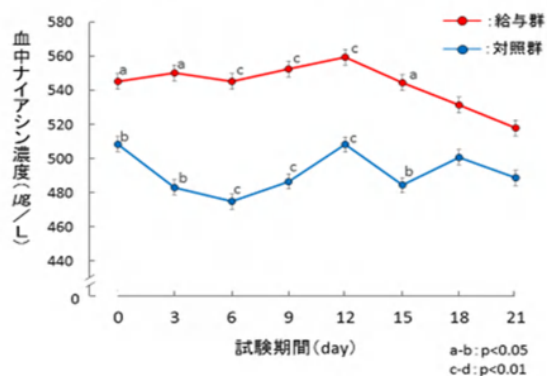
給与量
100～200g/日



② バイパスナイアシン「ナイアクールZ」

近年、暑熱対策に有効な成分として、「ナイアシン」が注目されています。ナイアシンは、水溶性ビタミンの1つ（ビタミンB3）であり、そのまま給与すると多くがルーメンで分解されてしまいます。「ナイアクールZ」は特殊なルーメンバイパス加工をしており、日本大学生物資源学部と日産合成㈱の共同研究の結果、12gの給与でもナイアシンがきちんと血中に移行していることが示されました（図1）。

図1.平均血中ナイアシン濃度の推移

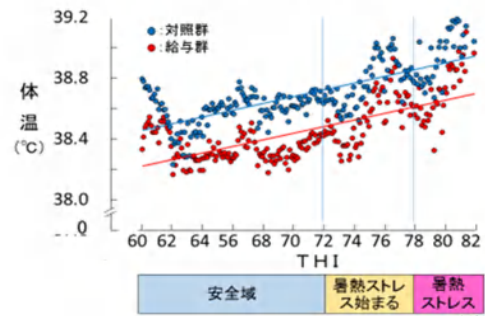


ナイアシンには、血管拡張による体温低下作用があり、気温の上昇による体温の上昇を抑えます。先述した“THI”が高まると、乾物摂取量や乳量、繁殖など様々な面で悪影響が現れ始めます。バイパスナイアシン給与群では、同じ THI 条件でも、深部体温が明らかに低下していることが確認されました（図2）。

ナイアシンにはまた、脂肪肝の一因にもなる、体脂肪からの遊離脂肪酸（NEFA）放出を抑制する作用もあります。暑熱だけでなく移行期対策としても「ナイアクールZ」を利用してみてはいかがでしょうか。

全酪連では、上記の製品について8月までキャンペーンを実施しております。是非この機会に弊社製品をご利用いただければと思います。大切な愛牛の暑さ対策の一助となれば幸いです。

図2.給与群及び対照群の平均体温とTHIの関係
(21日間の10分毎のTHIとその時の平均体温)



第125回日本畜産学会発表 玉置弓弦ら (2019)

淡路家畜市場情報

令和1年6月9日

F1 スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			16	363,420	390,960	263,520			56		
		前回	8	321,975	388,800	1,080			57	41,445	12.9%
		前年	13	279,969	340,200	137,160			56	83,451	29.8%
オス	今回	10	378,216	419,040	270,000			56			
	前回	10	408,456	441,720	319,680			56	-30,240	-7.4%	
	前年	13	313,366	412,560	176,040			56	64,850	20.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
		前回									
		前年	1	115,560	115,560	115,560			59	-115,560	-100.0%
オス	今回	6	133,380	166,320	86,400			54			
	前回	10	159,516	195,480	51,840			52	-26,136	-16.4%	
	前年	5	169,776	181,440	156,600			56	-36,396	-21.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和1年5月25日・前年は平成30年6月9日

令和1年6月25日

F1 スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			14	385,946	409,320	332,640			58		
		前回	16	363,420	390,960	263,520			56	22,526	6.2%
		前年	4	307,260	344,520	282,960			54	78,686	25.6%
オス	今回	6	443,520	486,000	388,800			53			
	前回	10	378,216	419,040	270,000			56	65,304	17.3%	
	前年	11	337,942	379,080	184,680			56	105,578	31.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
		前回									
		前年									
オス	今回	3	178,920	183,600	173,880			53			
	前回	6	133,380	166,320	86,400			54	45,540	34.1%	
	前年	5	144,720	174,960	110,160			44	34,200	23.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和1年6月9日・前年は平成30年6月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6	131,252	34	168,090	72	137,880	12	151,160	8,011
	7	151,004	66	158,593	110	182,520	11	136,450	9,205
	8	134,983	65	137,809	163	131,854	23	117,344	9,423
	9	121,656	76	120,268	156	92,417	14	118,081	9,056
	10	111,122	101	120,324	168	75,731	33	127,446	9,999
	11	101,422	88	125,346	197	115,210	37	128,441	9,343
	12	93,518	88	98,413	114	74,236	38	115,932	8,261
31	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,634	13,155
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	320,427	175	278,094	12,768
	6	312,657	187	310,953	296	361,873	311	291,022	10,865
	7	296,223	246	315,086	292	362,384	111	283,769	11,795
	8	287,276	253	283,302	461	316,868	154	254,701	12,525
	9	273,584	286	275,638	377	294,961	161	251,290	12,152
	10	267,927	336	271,927	352	292,655	175	251,406	13,598
	11	273,716	302	276,629	458	291,466	193	260,225	12,929
	12	274,699	336	275,416	397	297,295	216	265,315	12,740
31	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(令和1年7版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

令和1年6月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	7日	728,000円	826,000円	-98,000	88.1%
ホクレン釧路市場	12日	711,000円	924,000円	-213,000	76.9%
ホクレン根室市場	13日	703,000円	859,000円	-156,000	81.8%
ホクレン豊富市場	14日	723,000円	901,000円	-178,000	80.2%
ホクレン北見市場	19日	682,000円	920,000円	-238,000	74.1%
ホクレン十勝市場	20日	785,000円	983,000円	-198,000	79.9%
平均		737,000円	922,000円	-185,000	79.9%

7月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	5日	728,000円	891,000円
ホクレン釧路市場	10日	711,000円	927,000円
ホクレン根室市場	11日	703,000円	926,000円
ホクレン豊富市場	12日	723,000円	898,000円
ホクレン北見市場	22日	682,000円	877,000円
ホクレン十勝市場	23日	785,000円	962,000円
平均		737,000円	928,000円

8月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	2日	814,000円
ホクレン豊富市場	9日	874,000円
ホクレン根室市場	22日	955,000円
ホクレン釧路市場	23日	932,000円
ホクレン十勝市場	28日	947,000円
ホクレン北見市場	29日	916,000円
平均		928,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

北海道乳牛産地情報

(令和元年7月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40~45	弱含み	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で95.8%、累計で96.5%、苫小牧管内月計で95.9%、累計で97.2%の実績となっております。 7月の初妊牛動向といたしまして、9月~10月分娩が中心となります。6月管内乳牛市場が夏分娩中心となり、軟調な相場となったことから、庭先購買価格もやや弱含みで推移するものと思われます。腹別により価格動向に若干差が生じており、F1腹はやや堅調、雌雄選別腹は軟調な動きとなっています。この地域は高能力牛が出てくる地域ですので、ご希望がございましたらお問合せください。育成牛、経産牛につきましても、軟調に推移するものと思われます。
	初妊牛	70~78	やや弱含み	
	経産牛	45~50	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	48~58	やや弱含み	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で99.6%、累計で98.9%、中標津管内月計で101.4%、累計で100.6%の実績となっております。 7月の初妊牛動向といたしまして、9~10月分娩が中心となります。6月管内乳牛市場の相場は上場牛が夏分娩へと移行し、メガ・ギガファームの導入の減少により、軟調な相場となりました。秋分娩までは軟調傾向で推移するものと思われますが、秋以降の相場上昇を見込んだ駆け込み需要も予想されますので、引き続き価格動向には注視する必要があります。 資源状況につきましては、例年通りの頭数は確保出来る状況となっておりますが、夏季放牧をしている牛も多い為、早めのご連絡をお願い申し上げます。
	初妊牛	70~80	弱含み	
	経産牛	50~60	弱含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	45~55	やや弱含み	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.7%、累計で103.2%の実績となっております。 7月の初妊牛動向といたしまして、9月~10月上旬分娩が中心となります。6月管内乳牛市場の平均相場が前回より下げたことから、庭先購買価格もやや弱含みで推移するものと思われます。腹別ではF1腹と雌雄選別腹で70~80万円、和牛受精卵移植腹は受精卵のランクが高いものだと100万円を超える庭先購買価格となることが予想されます。 資源状況は各腹確保しやすい状況となっています。初妊牛同様、育成牛、経産牛も軟調な動きを見せています。
	初妊牛	70~80	弱含み	
	経産牛	47~57	弱含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	43~53	やや弱含み	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で97.5%、累計で98.4%、北見管内では月計で101.7%、累計で102.0%の実績となっております。 7月の初妊牛動向といたしまして、9~10月分娩が中心となります。6月管内乳牛市場は上場牛が夏分娩となったこと、道内外のメガ・ギガファームの導入が減少していることから軟調な相場となっており、庭先購買価格についても同様に推移すると思われる。また、この流れは秋分娩まで続くものと思われます。 資源状況と致しましては、初妊牛ではF1腹、雌雄選別腹共に確保し易い状況となっており、経産牛に関しましても確保がし易い状況となっております。
	初妊牛	70~78	弱含み	
	経産牛	48~55	やや弱含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	45~55	やや弱含み	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は101.3%、累計で101.0%の実績となっております。 6月に入り北海道内では1番牧草の収穫がスタートしておりますが、昨年と比較して現時点では順調に収穫作業が出来ているものの、収量についてはやや減少の見込みとなっております。 7月の初妊牛動向といたしまして、9月~10月分娩が中心となっております。6月の各地域の初妊牛市場は、夏分娩の上場となりメガ・ギガファームの導入も少なかったことから軟調に推移しています。メガ・ギガファームの導入動向にも注視が必要ですが、秋分娩に入っても軟調に推移することが予想されます。弊社としては引き続き庭先選畜を中心とした購買を行ってまいりますので、導入希望・計画がございましたらお早目のご注文宜しくお願い致します。
	初妊牛	70~80	弱含み	
	経産牛	48~58	やや弱含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

各船社には、2020年1月から船舶燃料に含まれる硫黄分を大幅に減らす取り組みが求められています。この規制に対応する主な手段は、低硫黄の燃料への変更、もしくは新たに脱硫装置を設置することであり、いずれも多額のコストが掛かるため海上運賃へ転嫁されてくると予想されています。また、このところの原油相場の影響もあり、7月～9月のバンカーサーチャージを各船社とも値上げしており、10月～12月以降はこれに加えて新基準の重油コスト増分が反映されてくることになりそうです。

長引く海運不況下、各船社は経営合理化のために2019年4月に航路再編を実施し、北米西海岸出しからの日本主要港への直行便は、これまでよりも少なくなっています。このため、特にロサンゼルス・ロングビーチ港では、ターミナルの混雑と日本直行便の特定航路へのブッキングの集中により、ターミナルへの実入りコンテナの搬入が間に合わず、船積みの遅延が度々発生しています。今後もこの状況は続く予想され、夏場以降、他の農作物など米国出しの輸出貨物が多くなる時期については、特に注意が必要になると考えられます。

ビートパルプ

【米国】

前月にも記載した通り、冬場の歴史的な寒波と大雪、春先の冷涼・多雨の天候によりトウモロコシと同様、ビートの作付にも大きな後れが発生しています。この影響で、現時点では今後の生育環境が好転してもこれまでの遅れを回復することは難しいと考えられています。

特にミネソタ州南部とミシガン州の状況は悪く、作付作業の遅れや作付面積の減少が見られておりますが、日本向け主力のミネソタ州及びノースダコタ州では、作付は遅れているものの、その後の生育は大きく悪化はしていないようです。

一部の地域では、作付の遅れに伴う単収の悪化を見込んで5月前後に作付を増やしにかかりましたが、悪天候により想定通りに増やせず、全米の作付面積は前年比17,000エーカー程度の増加に留まったようです。

新穀の相場は、作付及び生育の遅れやトウモロコシの直近の相場、さらには物流経費の上昇、全体の需給バランスなどを受け判断されると見られます。今年は作付の遅れにより不確定要素が多いため、新穀の価格決定は例年より遅れる見込みです。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは1番刈の収穫作業が終了し、一部の圃場では2番刈の収穫が開始されています。産地では引き続き例年よりも冷涼な気候が続いており、収穫期の天候に恵まれれば、良品が多く発生するものと期待されます。

コロンビアベースン全体では1番刈の50-70%で何らかの雨当たり被害に遭っており、残りは雨を避けたため刈遅れ品質のものが大半で、高成分かつ良品の発生割合は限定的となっています。今年の1番刈の特徴は、冷涼な気候による生育の遅れと、降雨を避けるために全体的に収穫作業が遅れたことから例年に比べて成分は低めの傾向で、茎は細め、全体の質感としては硬めな仕上がりとなっています。また、昨年と同様に収穫期間中に風が強かったことから、夜露が降りにくい状況が続き、全般的に過乾燥な傾向にあります。

産地相場は、18年産の繰越在庫が過去に例を見ないレベルで少なく、国内外の需要も堅調な中、昨年同時期に比べ\$10-20ドル/トン前後上昇して取引をスタートしています。1番刈の上級品の発生割合が少なかったことから、2番刈以降についても良品へ需要が集中し、産地相場は高値のまま堅調に推移することが懸念されます。





(19年産アルファルファ 1 番刈と2番刈の収穫作業 コロンビアベースン 6月中旬撮影)

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは、1番刈の収穫作業はほぼ終了しています。6月下旬に軽い降雨があったため、多少雨当たり被害を受けている圃場も出ているようですが、概ね良品の発生が中心となっているようです。

オレゴン州中部クリスマスバレーでは、6月下旬から1番刈の収穫を開始しています。今年はワシントン産アルファルファ1番刈の良品不足を受け、オレゴン州に多数の輸出業者が買付に入っており、昨年の同時期よりも価格は強含みで取引されているようです。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、現在4番刈まで収穫が進んでいます。産地の気温は上昇してきており、分析値は低下し、いわゆるサマーハイと呼ばれる中級品以下の発生が中心となっています。

産地相場については、分析値の低下に伴い、新穀開始当初と比較すると徐々に軟化してきています。

カリフォルニア州北部では、断続的な降雨の影響で、ほとんどの1番刈は刈遅れ、もしくは雨当たりの被害を受けており、過去最悪レベルの品質とされています。

2番刈は間もなく終了する見込みです。2番刈も一部で降雨被害を受けているものの、品質については概ね例年並みのようです。

ネバダ州・ユタ州

ネバダ州の主産地では1番刈は終了しており、2番刈が始まっています。1番刈は一部で良品は発生しているものの、降雨被害や、それを避けたための刈遅れ品などが多数発生しており、作柄は良好とは言えない状況です。

ユタ州では、5月に記録的な大雨に見舞われましたが、6月上旬には天候は回復して順調に収穫作業が進みました。現在、すでに1番刈は終了しています。多くの圃場で、ほぼ降雨の被害を受けることなく良品が発生しています。

2番刈は6月下旬から収穫が開始されており、7月上旬から中旬にかけて収穫の最盛期を迎えます。

米国産チモシー

1番刈の収穫は総じて順調に進んでおり、主産地であるコロンビアベースンおよびエレンズバーグでの収穫は終盤に差し掛かっています。産地の気温はチモシーの生育に非常に適しており、風も適度にあることから、刈り取り後の水分調整も長引かず、大多数の圃場が良い色目を保っており、今のところ殆どの圃場で上級品の発生が中心となっています。

19年産が良品中心の作柄となったため、チモシーの新穀価格は18年産開始時に比べて全体的に軟化傾向にあります。このため、上級品と低級品の価格差が去年に比べると縮まる可能性があります。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区では、これまでのところチモシーの生育状況は非常に良好です。5月は昨年よりも気温はやや低く推移したものの、適度な降雨もあったことから生育状況は良好な状態が保たれています。現在草丈は100cmほどとなっており、穂も十分に伸びてきています。現在のところ収穫作業は例年並みの7月初旬から開始される見込みです。

アルバータ州中部クレモナ地区では、5月前半はレスブリッジ地区同様、冷涼な気候が続いていましたが、5月下旬から6月にかけては十分な降雨があり、現時点での生育状況は良好です。現在の草丈は60-65cm程度で、ちょうど出穂が見られ始めたところです。このまま天候に恵まれれば単収は例年よりも増加し、2.5-2.7MT/エーカー程度収穫できるものと期待されています。チモシーの収穫作業は、今後の天候次第ではありますが、ほぼ例年並みの7月中旬前後から始まるものと予想されています。

需要については、カナダ国内、輸出向けともに堅調に推移しており、18年産の在庫は契約分在庫を除くと余剰在庫はほぼ無い状況です。米国産チモシー相場の軟化を受け、19年産のカナダ産チモシーは昨年よりも安価になることが期待されますが、収穫前ということもなり、今後慎重に見極めていく必要があります。

スーダングラス

19年産のスーダンの収穫は例年に比べ7日から10日遅れ、5月下旬からスタートし6月に入ってから本格化しました。7月1日時点の作付面積は46,347エーカー（昨年同期比97%）となっています。作付面積は昨年同期比で微減となっていますが、18年産の繰越在庫も若干量あることから、供給力には問題はなさそうです。

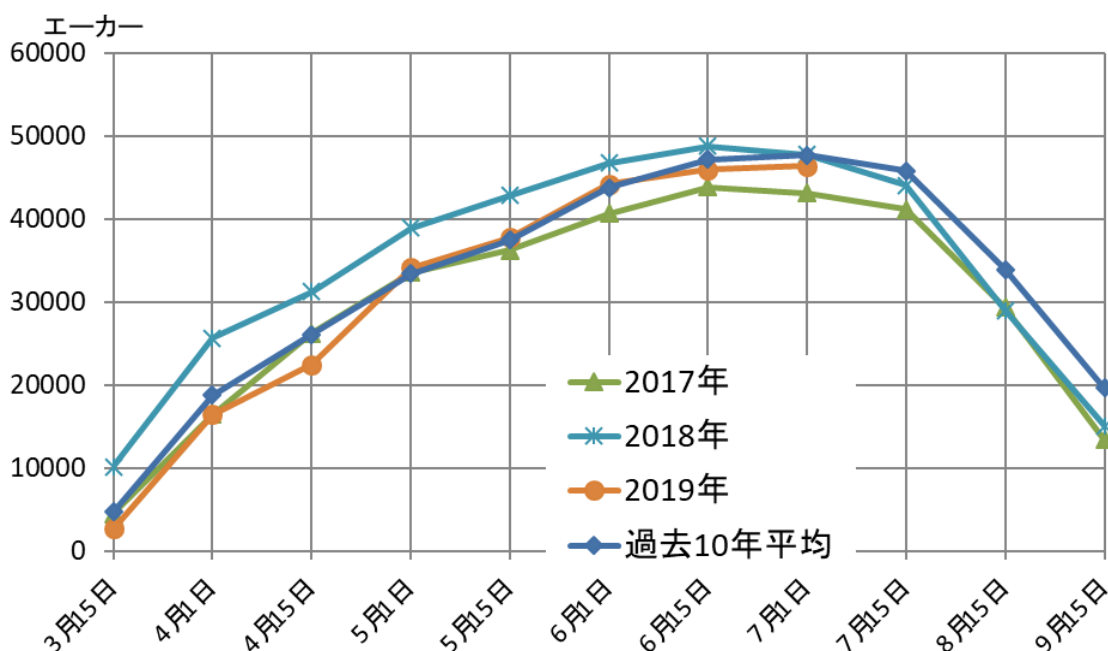
現時点まで天候は安定的で、種子の価格が適正価格まで下がったことで種子も適量播種されたことから、茎のサイズは昨年とは異なり安定的で、これまでのところ品質は良好なようです。しかしながら、一部では昨年と同様茶葉が散見される圃場もあることから、全体の作柄を見極めていくためには、今後の収穫状況を注視していく必要があります。

新穀相場については、各サプライヤーともまだ積極的な買付は行っておらず、市場は非常に静かな展開となっています。取引も少ないため、相場がまだ完全には立っていない状況です。



19年産スーダン上級品

19年産スーダン中級品



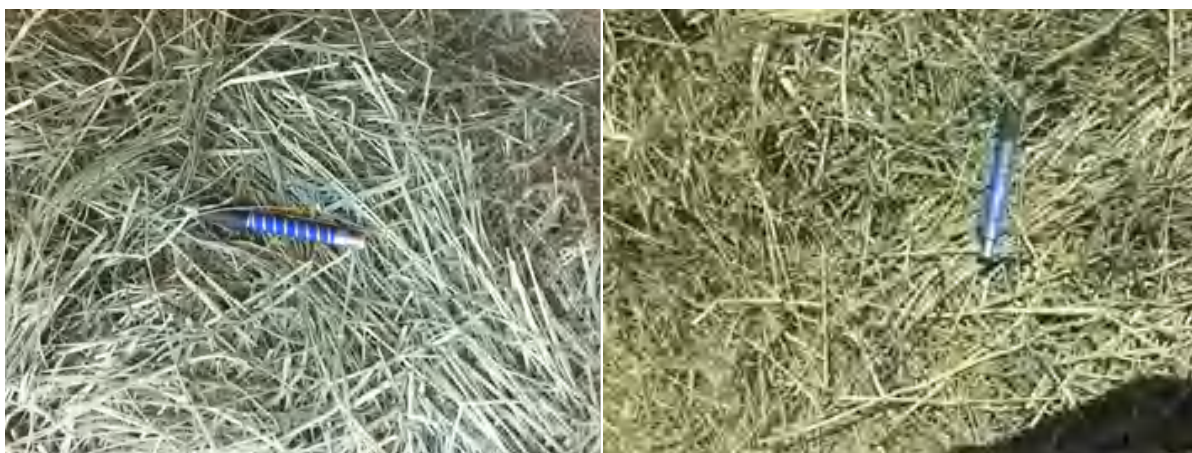
	2月1日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月1日	8月15日	9月1日	9月15日	10月1日	10月15日	11月1日	11月15日	12月1日	12月15日
2017年	4500	18445	20207	20500	20250	40000	40004	40000	41100	20004	10440	5440	20007	11000					
2018年	10170	20021	21000	20000	42701	40004	40007	47747	44000	20010	10040	7701	4700	20000					
2019年	2700	18440	20400	24101	27000	44100	40000	46347											
過去10年平均	4000	10700	20000	20400	27400	40701	47100	47700	40000	20044	10047	12207	5000	1000					

インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 7月1日時点（単位：エーカー）

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地インペリアルバレーでは2番刈の収穫作業が中盤を迎えており、早い圃場ではすでに2番刈の収穫作業を終了しています。現時点まで天候に恵まれ、気温も例年より低く推移しており、湿度も高くないことから2番刈は色目も良く品質は全般良好と評価できます。

日本からの引き合いは引き続き堅調に推移しています。韓国からの引き合いは良品については堅調なもの、米国産チモシー及びストローの価格軟化、加えて輸入割当枠の関係から良品以外のものへの需要は減退しています。このため、産地相場は旺盛な需要に支えられ、良品については堅調に推移しているものの、それ以外の茶葉、変色、雑草混じりのものの相場はやや軟化傾向にあります。今後さらに収穫が進捗し、産地の供給力が増してくれば、産地相場はもう一段、軟化してくることが期待されます。



新穀クレイングラス 1番刈 6月下旬撮影

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

アニュアルライグラスは殆どの収穫が終了しており、早ければ7月上旬から出荷が始まる見込みです。産地では、圃場で雨当たり被害を受けたものでも、稼働を始めたバイオマス工場が使用すると見られており、ストローの供給力は減退すると予測されています。このため、価格も堅調に推移する可能性があります。

フェスクストローは7月上旬から収穫が開始される見込みで、早ければ7月下旬か

ら出荷開始できる見込みです。ペレニアルライグラスの収穫は7月中旬から開始される見込みです。ペレニアルの作付面積は年々減少しており、産地価格への影響が懸念されます。

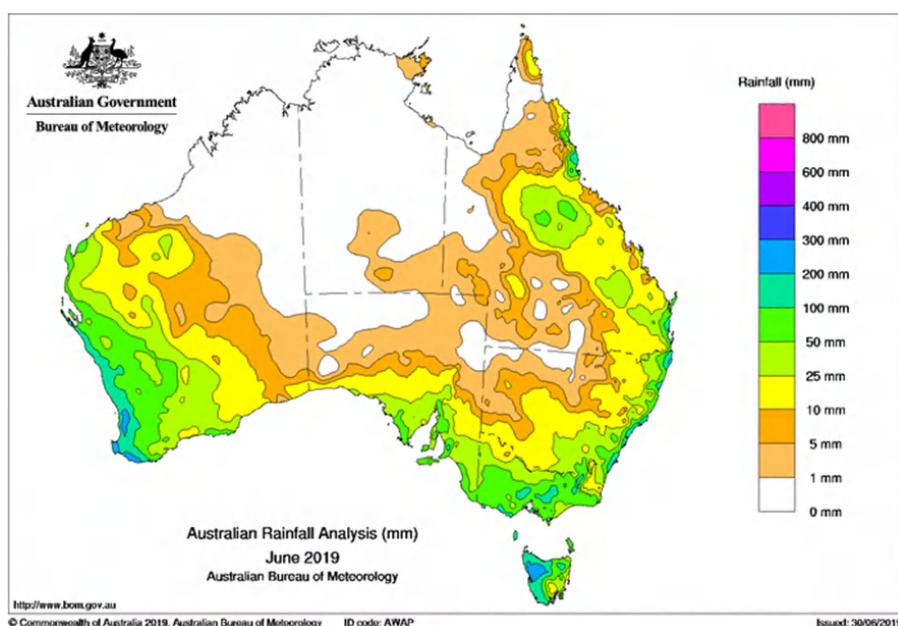
豪州産オーツハイ

2019年産の播種作業は豪州全域で終了しています。東豪州及び南豪州では播種後に十分な降雨があり、6月に入っても適度な降雨があったため、オーツの初期生育は順調に進捗しています。一方、播種作業前後で降雨が少ない状態が続いていた西豪州においても6月上旬以降ようやく降雨があり、現時点では順調な生育に入ったと言えます。

産地相場については、昨年の早魃の影響から、引き続き豪州国内からの引き合いが強く、深刻な早魃に見舞われた東豪州では、特に堅調な需要が続いています。このため、産地相場自体は高止まりしている状況が続いています。

輸出向けについては、産地側の供給力が低下してきていることに加え、北米産イネ科牧草の価格軟化を受け、オーツハイの価格競争力が損なわれてきたことから、主要輸入国である日本及び韓国での需要は減退しつつあります。各地域でコンテナヤードでの滞貨も徐々に増え始めているようです。今後も北米産イネ科牧草の相場や価格帯を見ながら、オーツハイの実需を判断していく必要があります。

産地側では、在庫が限られている状況下ではあるものの、北米産の新穀価格の動向を見ながら輸出価格の調整に入りつつあり、一部のグレードで値下げを唱えるサプライヤーも出てきています。

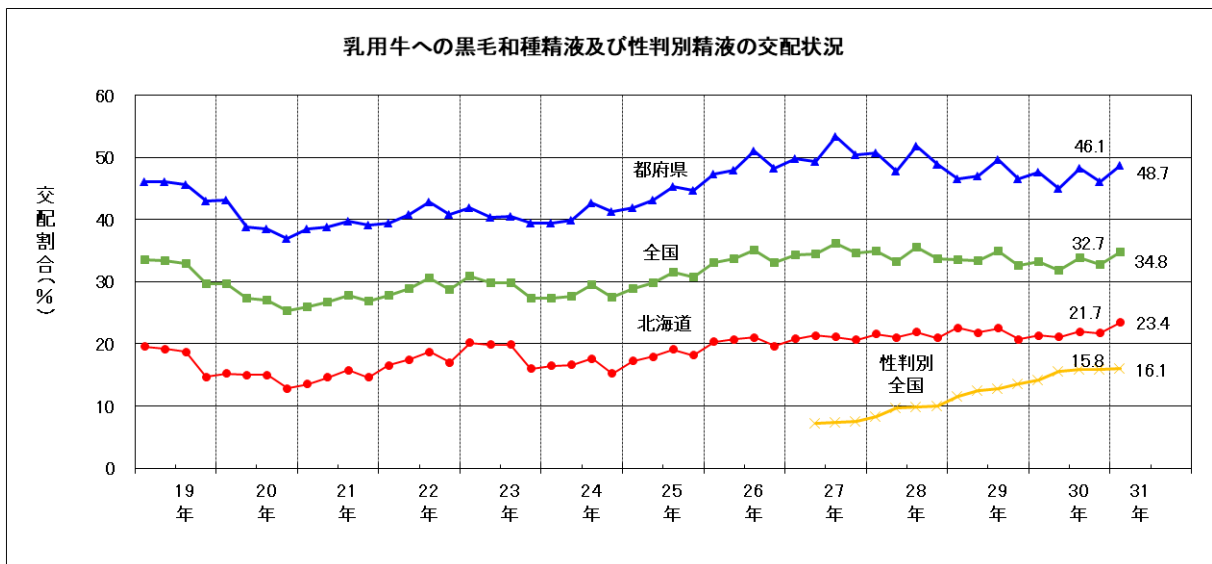


2019年6月の豪州における降水量（オーストラリア気象局HPより）

以上

乳用牛への黒毛和種の交配状況について

平成31年第1四半期（平成31年1～3月期）の黒毛和種の交配割合は、全国において34.8%（前期比2.1%増、前年同期比1.6%増）、北海道において23.4%（前期比1.7%増、前年同期比2.1%増）となっています。また、性判別精液の割合は、全国において16.1%（前期比0.3%増、前年同期比1.9%増）となっています。



- ※ 乳用牛への黒毛和種の交配状況が生乳生産に影響を与え始めるのは、妊娠期間及び育成期間を経た3年後となります。
- ※ 今四半期の数値は速報値です。次回公表時に確報値をお示しします。

乳用牛への黒毛和種の交配状況(速報)

家畜人工授精師の協力を得て調査を行っている乳用牛への黒毛和種の交配状況(速報)をお知らせいたします。
 調査は、四半期毎に、都道府県家畜人工授精師協会において、各都道府県内の実態が把握できるよう、地域的偏り等に配慮のうえ、乳用牛に対する人工授精の2割以上を目途に実施されています。
 なお、中間集計段階の期間については、継続調査中であるためデータの追加により数値が変化しますのでご注意ください。

延べ人工授精頭数に占める黒毛和種液授精頭数の割合

(単位:頭、%、県)

人工授精時期		北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中四国	九州	(参考)		
										都府県平均	全国平均	既調査県数
平成27年 1～12月	延べ人工授精頭数	1,030,168	49,944	81,267	18,213	6,618	20,866	19,070	33,041			
	うち黒毛和種授精	216,147	20,649	41,670	9,577	3,811	11,873	12,421	19,046			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.0)	(41.3)	(51.3)	(52.6)	(57.6)	(56.9)	(65.1)	(57.6)	(50.7)	(34.9)	46
平成28年 1～12月	延べ人工授精頭数	1,001,000	48,668	85,335	15,068	7,610	20,400	19,545	33,147			
	うち黒毛和種授精	213,664	19,599	43,139	7,908	4,412	11,337	12,522	18,662			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.3)	(40.3)	(50.6)	(52.5)	(58.0)	(55.6)	(64.1)	(56.3)	(49.5)	(34.2)	46
平成29年 1～12月	延べ人工授精頭数	1,001,060	44,676	86,836	19,082	7,343	20,130	19,309	31,962			
	うち黒毛和種授精	219,007	15,842	42,179	10,306	4,133	11,134	11,839	17,565			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.9)	(35.5)	(48.6)	(54.0)	(56.3)	(55.3)	(61.3)	(55.0)	(47.3)	(33.5)	46
平成30年 1～12月	延べ人工授精頭数	1,019,573	42,191	85,348	18,442	6,761	20,100	20,927	30,757			
	うち黒毛和種授精	219,543	14,681	40,441	9,709	3,167	10,935	13,547	17,064			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.5)	(34.8)	(47.4)	(52.6)	(46.8)	(54.4)	(64.7)	(55.5)	(46.7)	(32.9)	46
平成26年 1～3月	延べ人工授精頭数	254,089	12,299	22,518	3,304	1,921	5,513	5,373	10,398			
	うち黒毛和種授精	51,749	4,470	11,450	1,827	1,158	3,140	2,978	5,643			
	(黒毛和種の割合:%)	(20.4)	(36.3)	(50.8)	(55.3)	(60.3)	(57.0)	(55.4)	(54.3)	(47.3)	(33.1)	47
平成26年 4～6月	延べ人工授精頭数	252,272	11,453	23,231	3,206	1,756	5,424	4,812	9,493			
	うち黒毛和種授精	52,349	4,475	11,483	1,703	975	3,092	2,975	5,196			
	(黒毛和種の割合:%)	(20.8)	(39.1)	(49.4)	(53.1)	(55.5)	(57.0)	(61.8)	(54.7)	(47.9)	(33.6)	46
平成26年 7～9月	延べ人工授精頭数	266,290	12,010	21,395	2,674	1,564	4,836	4,344	7,911			
	うち黒毛和種授精	55,982	4,540	11,329	1,505	901	2,928	2,866	4,669			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.0)	(37.8)	(53.0)	(56.3)	(57.6)	(60.5)	(66.0)	(59.0)	(51.0)	(35.1)	46
平成26年 10～12月	延べ人工授精頭数	266,958	13,301	23,307	3,231	1,822	5,752	4,763	10,138			
	うち黒毛和種授精	52,456	5,119	11,881	1,713	937	3,199	2,875	5,532			
	(黒毛和種の割合:%)	(19.6)	(38.5)	(51.0)	(53.0)	(51.4)	(55.6)	(60.4)	(54.6)	(48.2)	(33.1)	46
平成27年 1～3月	延べ人工授精頭数	243,730	12,792	17,131	3,302	1,786	5,314	5,169	9,101			
	うち黒毛和種授精	50,715	5,138	9,083	1,807	949	2,992	3,469	5,048			
	(黒毛和種の割合:%)	(20.8)	(40.2)	(53.0)	(54.7)	(53.1)	(56.3)	(67.1)	(55.5)	(49.8)	(34.4)	46
平成27年 4～6月	延べ人工授精頭数	255,202	11,839	21,812	5,488	1,861	5,292	4,521	7,922			
	うち黒毛和種授精	54,486	4,863	10,710	3,136	1,081	2,889	2,866	4,454			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.4)	(41.1)	(49.1)	(57.1)	(58.1)	(54.6)	(63.4)	(56.2)	(49.3)	(34.5)	46
平成27年 7～9月	延べ人工授精頭数	265,618	11,118	18,692	3,530	1,416	4,748	4,406	7,001			
	うち黒毛和種授精	56,032	4,551	9,904	1,795	870	2,821	2,974	4,299			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.1)	(40.9)	(53.0)	(50.8)	(61.4)	(59.4)	(67.5)	(61.4)	(53.3)	(36.2)	46
平成27年 10～12月	延べ人工授精頭数	265,618	14,195	23,632	5,893	1,555	5,512	4,974	9,017			
	うち黒毛和種授精	54,914	6,097	11,973	2,839	911	3,171	3,112	5,245			
	(黒毛和種の割合:%)	(20.7)	(43.0)	(50.7)	(48.2)	(58.6)	(57.5)	(62.6)	(58.2)	(50.4)	(34.6)	46
平成28年 1～3月	延べ人工授精頭数	245,377	13,595	21,884	5,953	2,135	5,298	4,703	8,788			
	うち黒毛和種授精	52,960	5,809	11,463	2,832	1,227	3,030	2,971	4,859			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.6)	(42.7)	(52.4)	(47.6)	(57.5)	(57.3)	(63.2)	(55.3)	(50.7)	(34.9)	46
平成28年 4～6月	延べ人工授精頭数	245,809	11,409	20,971	3,131	1,688	5,007	4,907	7,444			
	うち黒毛和種授精	51,625	4,550	10,082	1,611	962	2,817	3,145	4,170			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.0)	(39.9)	(48.1)	(51.5)	(57.0)	(56.3)	(64.1)	(56.0)	(47.7)	(33.2)	46
平成28年 7～9月	延べ人工授精頭数	250,759	11,151	19,600	2,629	1,807	4,624	4,353	6,921			
	うち黒毛和種授精	54,777	4,428	10,184	1,564	1,096	2,482	2,963	4,096			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.8)	(39.7)	(52.0)	(59.5)	(60.7)	(53.7)	(68.1)	(59.2)	(51.8)	(35.5)	46
平成28年 10～12月	延べ人工授精頭数	259,055	12,513	22,880	3,355	1,980	5,471	5,582	9,994			
	うち黒毛和種授精	54,302	4,812	11,410	1,901	1,127	3,008	3,443	5,537			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.0)	(38.5)	(49.9)	(56.7)	(56.9)	(55.0)	(61.7)	(55.4)	(48.8)	(33.7)	46
平成29年 1～3月	延べ人工授精頭数	239,729	11,899	23,468	5,295	1,921	5,227	5,110	8,765			
	うち黒毛和種授精	54,038	4,452	11,386	2,777	1,062	2,665	3,141	4,607			
	(黒毛和種の割合:%)	(22.5)	(37.4)	(48.5)	(52.4)	(55.3)	(51.0)	(61.5)	(52.6)	(46.5)	(33.5)	46
平成29年 4～6月	延べ人工授精頭数	243,768	10,522	21,335	5,021	2,029	5,141	4,707	7,826			
	うち黒毛和種授精	53,215	3,712	10,450	2,635	1,127	2,850	2,732	4,242			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.8)	(35.3)	(49.0)	(52.5)	(55.5)	(55.4)	(58.0)	(54.2)	(47.0)	(33.3)	46
平成29年 7～9月	延べ人工授精頭数	255,699	10,536	19,947	3,747	1,643	4,562	4,392	6,299			
	うち黒毛和種授精	57,537	3,620	9,743	2,168	949	2,783	2,888	3,848			
	(黒毛和種の割合:%)	(22.5)	(34.4)	(48.8)	(57.9)	(57.8)	(61.0)	(65.8)	(61.1)	(49.6)	(34.9)	46
平成29年 10～12月	延べ人工授精頭数	261,864	11,719	22,086	5,019	1,750	5,200	5,100	9,072			
	うち黒毛和種授精	54,217	4,058	10,600	2,726	995	2,836	3,078	4,868			
	(黒毛和種の割合:%)	(20.7)	(34.6)	(48.0)	(54.3)	(56.9)	(54.5)	(60.4)	(53.7)	(46.6)	(32.5)	46
平成30年 1～3月	延べ人工授精頭数	242,177	10,928	21,856	4,956	1,671	5,099	5,293	8,343			
	うち黒毛和種授精	51,603	3,957	10,596	2,861	827	2,728	3,214	4,453			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.3)	(36.2)	(48.5)	(57.7)	(49.5)	(53.5)	(60.7)	(53.4)	(47.6)	(33.2)	46
平成30年 4～6月	延べ人工授精頭数	245,538	9,921	21,250	4,339	1,678	4,996	4,783	7,628			
	うち黒毛和種授精	51,794	3,347	9,861	2,230	740	2,654	2,955	4,102			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.1)	(33.7)	(46.4)	(51.4)	(44.1)	(53.1)	(61.8)	(53.8)	(45.0)	(31.9)	46
平成30年 7～9月	延べ人工授精頭数	264,254	9,707	19,108	4,105	1,541	4,565	4,936	5,883			
	うち黒毛和種授精	57,975	3,271	9,414	2,112	713	2,540	3,540	3,590			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.9)	(33.7)	(49.3)	(51.4)	(46.3)	(55.6)	(71.7)	(61.0)	(48.3)	(33.8)	46
平成30年 10～12月	延べ人工授精頭数	267,604	11,635	23,134	5,042	1,871	5,440	5,915	8,903			
	うち黒毛和種授精	58,171	4,106	10,570	2,506	887	3,013	3,838	4,919			
	(黒毛和種の割合:%)	(21.7)	(35.3)	(45.7)	(49.7)	(47.4)	(55.4)	(64.9)	(55.3)	(46.1)	(32.7)	46
平成31年 1～3月 (中間集計)	延べ人工授精頭数	242,948	10,798	21,664	5,138	1,799	5,255	4,995	8,705			
	うち黒毛和種授精	56,947	4,129	10,544	2,901	928	2,921	3,329	5,050			
	(黒毛和種の割合:%)	(23.4)	(38.2)	(48.7)	(56.5)	(51.6)	(55.6)	(66.6)	(58.0)	(48.7)	(34.8)	46

(注) 都府県平均及び全国平均は、都道府県毎の黒毛和種授精牛の割合(%)を、各年2月1日時点の成畜飼養頭数により加重平均したものであり、地域毎の数値の合計とは一致しません。

黒毛和種受精卵在庫状況一覧表

2019/6/24
13:30

番号	交配種雄牛	ドナー名号	育種 評価値	系統	税別 価格 (円/個)	在庫卵数	凍結法
S-8b	花国安福	はな1		百合茂×華春福×金幸	55,000	7	D
S-43c	福之姫	ふくふじ		安福久×福之國×安平	65,000	4	D
S-44b	花国安福	めい2		忠富士×福之國×安平	60,000	7	D
S-63c	幸紀雄	かなふじ		安福久×勝忠平×福之國	80,000	10	D
S-65c	茂福久	みよひさ		安福久×忠富士×安平	70,000	10	D
S-77c	勝忠平	りなふじ		安福久×忠富士×安平	80,000	9	D
S-78c	勝平1	あさふじ		安福久×勝忠平×福之國	65,000	6	D
S-80b	花国安福	ゆりふじ		百合茂×安福久×第1花国	68,000	14	D
S-80d	茂福久	ゆりふじ		百合茂×安福久×第1花国	70,000	9	D
S-92b	富士花国	なつあきふじ		勝忠平×安福久×百合茂	50,000	5	D
S-96b	勝早桜5	あやかふじ		平茂晴×安福久×百合茂	70,000	11	D
S-99	洋系波	たみこ148		百合茂×福之國×安平	55,000	7	D
S-99b	福増	たみこ148		百合茂×福之國×安平	50,000	10	D
S-103	花国安福	はな		華春福×金幸×神高福	50,000	10	D
S-109b	勝平正	ひみこ2		安福久×勝忠平×金幸	75,000	2	D
S-110b	勝早桜5	もとふじ2		百合茂×安福久×安平	68,000	14	D
S-122	茂洋	れい		安福久×勝忠平×安福久	65,000	1	D
S-127	好平茂	なつみ		北乃大福×平茂勝×北国7の8	50,000	10	D
S-133	美国桜	よしてる1		忠富士×勝平正×福之國	60,000	14	D
S-140	百合久	すけはな		第1花国×安平×系福(大分)	40,000	6	D
S-145	勝平正	なつきふじ		安福久×第1花国×百合茂	75,000	1	D
S-151	茂福久	ふうりん		勝忠平×安平×平茂勝	80,000	4	D
S-154	花国安福	ひばり		安福久×百合茂×勝忠平	70,000	4	D
S-157	美国桜	めいこう4		忠富士×勝平正×福之國	60,000	2	D
S-159	勝早桜5	はなこ		華春福×金幸×神高福	50,000	3	D
S-160	隆安国	えみな		百合茂×安平×福茂	40,000	20	D
S-160b	愛之國♂	えみな		百合茂×安平×福茂	50,000	5	D
S-168	安福久	たけくま45		第1花国×金幸×安系福	140,000	5	D
S-169	幸紀雄	めぶき8		安福久×勝忠平×福之國	65,000	3	D
S-170	幸紀雄	やちよ46		安福久×勝忠平×福桜(宮崎)	65,000	9	D

*在庫受精卵の個数は、常に変動する事をご了承ください。

*凍結法 D:ダイレクト法, S:ステップワイズ法

	株式会社	TOKACHI A.I. CENTER	〒089-1247 北海道帯広市昭和町基線108番地
	<h2>十勝家畜人工授精所</h2>		TEL(代表) 0155(64)4705 FAX 0155(64)4734 ホームページ http://www.taic.co.jp/



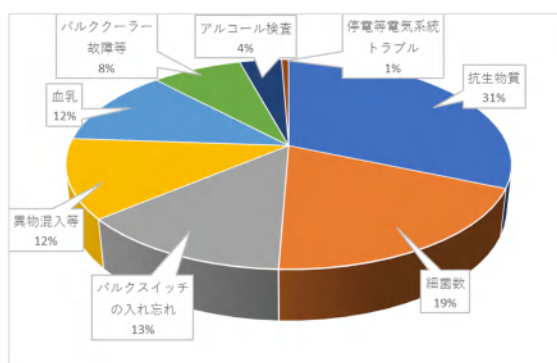
生乳廃棄を無くしましょう！

残念ながら、日々丹精されせかく搾乳された生乳がちょっとした不注意によって出荷に適さず廃棄される事故が後を絶ちません。

平成30年度において管内では54件、57,061kgもの生乳が廃棄処分されており、その原因の殆どが抗生物質や異物混入、バルククーラーの電源入れ忘れなどちょっとした不注意によるものばかりです。

平成30年度における管内生乳廃棄事故の発生状況

事故原因	発件数(件)	廃棄乳量(kg)
抗生物質	10	15,755
細菌数	10	9,602
バルクスイッチの入れ忘れ	7	6,658
異物混入等	4	6,129
血乳	5	5,970
バルククーラー故障等	5	3,880
アルコール検査	5	1,810
停電等電気系統トラブル	4	305
その他	4	6,952
合計	54	57,061



例年、これからの暑くなる季節はバルククーラーの故障や能力不足、落雷による停電などの電気系統トラブルによって生乳の冷却に問題が発生し受乳できない事故が多く発生しています。

今一度、基本の見直しにより無駄な廃棄乳を無くしましょう！

- ☞ 出荷不適合牛の隔離、マーキングの徹底
- ☞ 作業従事者間（家族、ヘルパーや従業員）の引継ぎの徹底
- ☞ バルク乳温の確認、記録の徹底
- ☞ 搾乳、貯乳機器設備の定期的な点検、メンテナンスの実施

兵庫県酪農農業協同組合生産指導部

個人版事業承継税制のポイント

平成31年度税制改正において、個人事業者の集中的な事業承継を促すため、後継者が事業用資産を先代から承継した際に課される贈与税・相続税の負担を大きく軽減する、新しい制度が創設されます。

1 多様な事業用資産が対象です。

事業を行うために必要な、多様な事業用資産が対象です。

○**土地・建物**（土地は400㎡、建物は800㎡まで。）

○**機械・器具备品**

（例）工作機械・パワーショベル・ガソリン給油機・冷蔵庫・診療機器 等

○**車両・運搬具**

○**生物**（乳牛等、果樹等）

○**無形償却資産**（特許権等） 等

【工作機械】



【診療機器】



2 相続税だけでなく、贈与税も対象です。

生前贈与による、**早め早めの事業承継の準備**を応援します。

3 納税額の全額（100%）が納税猶予されます。

後継者の承継時の**現金負担をゼロ**にします。

4 10年間の時限措置です。

平成31年1月1日～平成40年12月31日の間に行われる相続・贈与が対象です。待ったなしの課題である事業承継を、集中的に支援します。

【注1】制度を活用するためには、

①経営承継円滑化法に基づく認定が必要です。

②平成31年度から5年以内に、予め承継計画を提出する必要があります。

【注2】既存の事業用小規模宅地特例との選択制です。

ZENRAKUEN

ペレットタイプのバイパスナイアシン

ナイアクール

[ナイアクール ゼット]



◆暑熱期に*1 ◆移行期に*2 ◆繁殖対策に

水溶性ビタミンの一種であるナイアシンをそのまま牛に給与すると、90%以上がルーメンでこわされてしまいます。

ナイアクールZは小腸に確実に到達するよう、特殊な技術でルーメンをバイパスさせています。

給与量と給与方法

*1: **暑熱期に** …… 概ね外気温が20℃以上の日に1日1頭あたり12gを目安に給与してください。

*2: **移行期に** …… 分娩前21日～分娩後60日くらいまで1日1頭あたり12gを目安に給与してください。

成分内容

[含有する飼料添加物の名称] ニコチン酸(ナイアシン)、炭酸水素ナトリウム、酸化マグネシウム、プロピオン酸カルシウム、サッカリンナトリウム、着香料

[原材料名] 植物性油脂、炭酸カルシウム、脂肪酸、ステアリン酸、甘草抽出物、ステビア



2019年5月1日～8月31日までキャンペーン実施中



Your Partner 全酪連

お問合せは、全酪連近畿駐在員事務所(0794-62-5441)
または、お近くの全酪連スタッフ・兵庫県酪まで!